

2021年11月12日

各位

会社名 株式会社松屋アールアンドディ
代表者名 代表取締役社長 CEO 後藤 秀隆
(コード：7317 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 CFO 経営管理部長 松川 浩一
(TEL. 0779-66-2096)

特別損失（新型コロナウイルス感染症対応による損失）計上に関するお知らせ

当社は、2022年3月期第2四半期累計期間（2021年4月1日～2021年9月30日）において、特別損失（新型コロナウイルス感染症対応による損失）を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 特別損失の内容

当社グループは、2022年3月期第2四半期累計期間において、74百万円を「新型コロナウイルス感染症対応による損失」として計上する見込みです。

当社グループのベトナム子会社において、ベトナム政府より新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けた地域隔離措置等のコロナ対策規制が出されたため、需要が好調に推移する中、稼働率が低下する状況となりました。このような状況の中、従業員の移動が大幅に制限され、人の移動を極力抑えるために従業員は工場において宿泊しながら生産を余儀なくされましたが、従業員全員の努力により、顧客への供給責任を果たすことができました。

しかしながら、操業を一時的に縮小したことによる固定費及び臨時性のあると判断された費用が発生しており、当該費用を特別損失として74百万円を計上することとなりました。

2. 今後の見通し

現在、ベトナム子会社においては従業員全員がワクチン接種を終えており、10月15日より従業員の移動制限も解除されたことから、全員が工場に出勤できている状況であり、最悪の状況は既に脱しております。受注状況としては継続して顧客からの需要が大幅に増加しており、挽回生産に向けてミャンマーも含めフル操業体制を敷いております。

現時点におきましては、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想の変更はせず、今後の挽回生産の影響も鑑みながら精査した上で、開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上